

## JFA 第 44 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 東京都大会

### 稲城長峰 V フィールド規定及び試合観戦について

#### 前提条件

長峰 V フィールドはサッカー場の外は公園公共施設のため、大会運営による周囲（サッカー場外）の規制はできない。特に周回アスファルト道は一般も立ち入りする。

会場入場は、蜜を避けるため、試合開始 1 時間前とする。

#### 会場規定

- ・サッカー場の外はテントの設置は OK。但し、テント・敷物（ビニールシート等）は園内通行路を妨げないよう空いている芝生に設置。ゴール裏、ベンチ裏は避ける。
- ・アップは次試合チームのみフットサルコートでボールを使用したアップを許可。  
多目的広場でのアップは禁止。
- ・公園来場者、近隣に迷惑のかかる行為は、状況によっては退場していただくこともある。
- ・施設内禁煙。
- ・施設内駐車場、1 チーム 5 台の駐車証を発行します。入場時、ダッシュボード上にチーム名を明記してください。入庫時チェックさせて戴きます。
- ・タクシーでの来場の場合、駐車場入口では下車せず、1 時間無料になっていますので、駐車場の中で下車ください。

#### 試合観戦について

##### ◆条件付有観客試合

- ①登録選手 1 名につき保護者 1 名スタンドでの観戦を許可、その保護者の健康チェックシートも提出。  
健康チェックシートの提出が無い場合は選手、チームスタッフは試合参加不可、スタンド観戦の保護者は入場時スタンド前で人数分を提出。  
スタンド入場時、観戦者用シールをもらう。
- ②健康チェックシートは、チーム受付時に選手・スタッフ分を提出する。
- ③観戦は、自チーム試合時にフィールド内スタンドの指定位置で観戦。  
但し、16 名以上で構成のチームはベンチ入り登録選手 16 名以外の選手、保護者も含むが上限を 20 名とする。
- ④観戦時は声を出しての応援は禁止及び必ずマスクをする。
- ⑤試合終了後は指定の出口から退出する。（次の試合観戦者との接触を避けるため）
- ⑥会場内、チーム横断幕の掲載は不可とする。
- ⑦スタンドでの飲食禁止のため施設外で済ますこと。

※上記の条件で各チームの協力をお願いする。

## 長峰Vフィールド施設関連・備品について

### ①駐車場

- ・ 駐車許可車両はチーム5台。
- ・ 審判部員は崖下駐車場へ。

### ②緊急車両・荷物搬入車両

- ・ 指定場所可能。

### ③会場チーム・選手待機場所

- ・ サッカー場外の公園内芝生エリア。テント設置OK、園内通路は不可。

### ④チームアップ場所

- ・ フットサルコートにて次試合チームのみ使用。会場周辺は禁止。

### ⑤保護者観客席

- ・ フィールド内スタンド ※無観客か有観客にて利用決定。

### ⑥審判控室、女子更衣室

- ・ クラブハウス内の部屋を利用。

### ⑦大会運営本部

- ・ スタンド左右の中央に設置。テントその他は常備。

### ⑧コート本部

- ・ フィールド内2カ所にテント設置。

### ⑨フィールド2面

- ・ コートを区切るネットあり。

### ⑩お手洗い、駐輪場他

- ・ お手洗い：クラブハウスのお手洗いを利用。但し、利用可能時間を事前通達。  
駐輪場：自転車、バイクはクラブハウスの裏。

※使用備品は全て常備。

ハンドソープ、消毒アルコールは連盟で用意。

ハンドソープはトイレ、水飲み場。消毒アルコール設置場所は階段下とフィールド入り口。

※ユニホームチェックは運営本部の横で、メンバーチェック及び用具チェックは駐車場側のコート入り口付近で。

## ○ 審判員

- ・審判員の健康チェックシートまたはこれに代わるもの(スマホなど)の提示、健康状態の確認。
- ・会場に入るときは、マスク着用、握手等の接触はしない。
- ・審判クルーの打合せは、マスクを着用して手短に、向かい合っではなく同じ方向を向いて。
- ・ユニホームチェックは、指定場所において全員マスク着用し手早く行う。
- ・ペンなどの筆記用具、審判フラッグは共有しない、自分のペンやフラッグを各自持参する。
- ・各自マスクの収納ケース(ジップロックなど)を持参し、外したマスクは自分で管理する。
- ・審判報告書は、電子化(メールで2日以内に送信する)。  
※ただし退場や重要事項が出た場合は、当日書類で提出する。
- ※ユニホーム規定は、少年連盟ハンドブック、P53 の規定による。
- ・審判員は、試合後も2週間程度検温を続ける。

## ○ 試合

- ・試合前の用具チェックは、選手、審判員全員マスク着用。風通しの良い場所で適切な間隔をあけて、選手はその場を動かさず、審判員が目視で確認する。選手には接触せず手早く行う。この時に、コイントスを行いエンドを決めておく。
- ・選手の入場は、2メートルの距離をとって入場する、交代ゾーンの幅で向かい合って挨拶する。  
試合終了の挨拶も同じとする。
- ・試合前のセレモニーは行わない、ただし多摩陸上競技場では距離をとって整列しスタンドに挨拶。
- ・審判員は必要以上に、大きな音で笛を吹いたり、大きな声をかけたりしない。
- ・第4の審判員、補助審判員はマスクを着用し、コート本部と適切な距離をとる。
- ・PK戦:コート上でのPK戦の場合、キッカー以外の選手は、PKが行われていない側のハーフにいて、ハーフウエーラインに沿って適切な間隔をあけて横に広がる。センターサークル内にいる必要はない。
- ・試合が終わったら速やかにピッチから退出する。

## ○ 選手・チームスタッフ

- ・両チーム、スタッフ、審判団との握手はしない。
- ・円陣を行わない。
- ・得点の喜びは禁止しないが、ハイタッチ、身体接触等は行わない。
- ・ピッチ内での、咳エチケット、ツバ吐きはしない。うがいの水をピッチ内に吐かない。
- ・飲水ボトル、タオル等を共用しない。
- ・コーチ、チームメイトとの会話時、適切な距離をとる。
- ・交代選手のビブスの共有はしない、個々のビブスまたは上着を用意する。

## ○ 共通事項

- ・選手、審判員はピッチに入るまでマスクを着用する。外したマスクはコーチやチームメイト、または本部役員等に手渡さず自分で管理する。密閉できる袋などに入れ(ジップロックなどに名前を書いて)自分の荷物のところに置いて管理する。  
※試合後体調に変化があった場合、速やかに報告する。